

これまで取り組みました

●子育て支援・教育の充実



- こども医療費助成拡大事業
- 民間保育所の誘致事業
- 保育人材確保事業
- 情報教育推進事業
- 児童くらすICT化推進事業

●新庁舎整備事業



ZEB Ready認証によるグリーン化と市民サービスのデジタル化を展開するスマート庁舎が令和4年11月28日にオープン。

●行政のデジタル化の推進

新庁舎での窓口手続きに、タブレットを活用した「簡単」で「便利」に申請書を作成できるスマート窓口を導入。

クレジットカード等多様な決済方法に対応する端末を設置し、各窓口での証明書発行にかかる各種手数料など支払いに対応。



●地球温暖化対策の推進

太陽光パネル及び蓄電池設備の共同購入支援事業を阪神7市1町及び神戸市と連携実施し、家庭での再生可能エネルギーの導入による温室効果ガス削減を促進。

公用車への電動車の導入や学校等の空調・照明設備の省エネ改修等を実施。



未来へつなぐ まちづくり の実現に向けて



新型コロナウイルス感染症は、段階的な制限の緩和等によりウィズコロナへの移行が進んできました。一方、ロシアによるウクライナ侵略の長期化が、エネルギーや穀物等の価格高騰という形で市民の暮らしを圧迫しています。

市政運営においては、コロナ禍で加速した少子化や物価高騰、感染症等の諸課題に対峙し、前例に捉われず臨機に対応してまいります。

令和5年度は物価高騰対策をはじめ、これまでの行財政改革の成果などを活かし、子育て支援施策を充実させることで安心して子育てできるまちを目指すとともに、デジタル技術の活用による質の高い行政サービスの提供や、2050年カーボンニュートラルの実現に挑戦します。

そして、これからも市内外の方から「子育てしやすい」「住みたい、住み続けたい」と感じていただけるまちづくりに、全力で取り組んでまいります。

伊丹市シティプロモーションサイト

未来へつなぐまち伊丹



伊丹市シティプロモーションサイトはこちらの二次元コードを読み取り下さい。

【発行】伊丹市総合政策部政策室

※本リーフレットは3,000部作成し、印刷経費は1部あたり約19,36円です。

4総政215-2-072 A4変

itami

令和5年度

夢 まちプラン

人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹



「子育てしやすい」「住みたい、住み続けたい」
を感じるまちへ

子育て支援や教育をまちづくりの重点施策として、子育て世帯を取り巻く環境の充実や負担の軽減など、**子どもを中心に据えた施策を推進**します！



伊丹市マスコット たみまる

まだまだ取り組みます

大綱 1 安全・安心

- 新庁舎整備事業(外構工事他)
- 指揮広報車・救急車更新・消防活動用ドローン配備
- 安全・安心見守りネットワーク事業(小学校1年生無料)

大綱 2 育ち・学び・共生社会

- 民間保育所の誘致事業
- 送迎用バスへの安全装置導入支援事業
- 中学校部活動の地域移行推進事業
- 夏季自由プール事業

大綱 3 健康・医療・福祉

- フレイルチェック事業
- 出産・子育て応援交付金事業
- 食の支援による地域セーフティネット強化事業
- 地域密着型サービス施設整備補助事業

大綱 4 市民力・にぎわい・活力

- 地域総括交付金交付事業
- 地域活動拠点整備事業(鈴原・伊丹)
- いたみ花火大会事業
- 創業支援事業

大綱 5 環境・都市基盤

- 食品ロス削減協力店登録事業
- 昆陽池公園トイレ更新事業
- 歩道(街路樹)再整備事業
- マンション管理実態調査委託事業

大綱 6 参画と協働・行政経営

- 庁外施設へのキャッシュレス決済拡充事業
- マイナンバー交付円滑化事業
- 公共施設マネジメントの推進
- 行財政プランの推進

子育て施策の充実

子育て支援医療費助成事業

すべての子どもが健やかに育つまちを目指し、令和5年7月から中学生までの通院・入院に係る医療費の完全無償化と、新たに高校生世代の入院に係る医療費を無償化します。

長期休業中における児童くらぶ昼食提供事業

児童の健全育成を図り、保護者負担を軽減するため、17小学校の児童くらぶの希望者に対し、夏休み期間(土曜日及びお盆除く)の昼食提供を行います。

提供イメージ(ランチボックス形式)



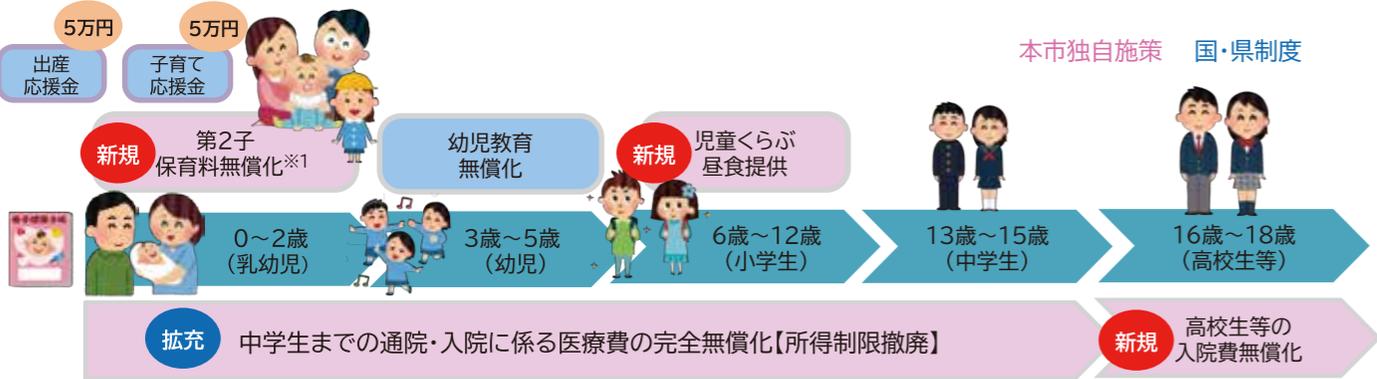
第2子の保育料無償化事業

※1子ども2人以上を同時に就学前施設に預ける保護者の経済的負担を軽減するため、所得に関わらず第2子の保育料を令和5年9月から無償化します。また、年収360万未満相当世帯の第2子については第1子の年齢を問わず保育料を無償化します。



産後ケア事業の充実

産後の不安や負担感を抱える産婦を支援するため、宿泊型サービスに対応する施設の追加や通所型サービスの対象月齢を7か月未満から12か月未満に拡充します。



安全・安心なまちづくり

市立伊丹病院統合再整備事業

令和8年度の開院に向け、地域医療の中核となる統合新病院の建設工事に着手します。



学校体育館空調設備整備事業

避難所生活における市民の健康配慮等、避難所環境の充実を図るため、空調設備を小学校1校の体育館に整備し、実証実験を行います。

設置イメージ



デジタル改革の推進

共同利用施設等デジタル環境整備事業

地域自治組織をはじめとする小学校区組織が、地域活動の拠点として利用している共同利用施設等にWi-Fi環境を整備し、地域活動のデジタル化を支援します。



共同利用施設でのパソコン講座

オンライン決済導入事業

新庁舎開庁に合わせて導入した伊丹市オンライン申請ポータルに、オンライン決済機能(クレジットカード決済等)を追加し、市民サービスの向上を図ります。



ゼロカーボンシティの実現

伊丹市ゼロカーボンシティ宣言に基づき、温室効果ガス削減のために、市自らが最大限取り組むとともに、市民や事業者と一体となって「2050年カーボンニュートラルの実現」を目指します。

- 取組の方向性
- 創エネ蓄エネの普及拡大
 - 移動手段の脱炭素化
 - 使用電力の脱炭素化
 - 環境価値の創造
 - 省エネの普及拡大



学校園の太陽光発電設備設置事業

公共施設の再生可能エネルギー設備の導入ポテンシャル調査の結果を踏まえ、令和5年度は小学校6校、中学校1校で太陽光発電設備の設置に向けて設計を行います。

